

ユニオンファンド 月次レポート

第 101 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2017年4月10日作成

MONTHLY TOPIC

「値下がり」を事前に知る」よりも大切なこと

「今は売り時？」

海外情勢が不穏で、このところ株価は行ったり来たりです。為替市場は円高傾向にあり、3月下旬に一時過去最高値をつけたユニオンファンドも一進一退です。ということで、そろそろ少し売っておこうかとお考えの方がいても不思議ではありません。しかし、相場の先行きは簡単にわかるものではありませんから、「売っておいらいでしよう」とは言えません。一方、「絶対大丈夫だから売る必要はないですよ」と断言するのも無理です。

株式市場は時折「暴落」に見舞われます。しかし、その暴落の前日に「明日は下がる」と言い切れる人はまずいないでしょう。大多数の人は、そんなことが起きるとは夢にも思ってもいません。だからこそ現実に株価が大きく下げ始めると、恐怖に駆られて持ち株を大量に売ることになり、それが暴落を引き起こすわけです。

株式市場で最大級の暴落と言えば、1987年10月の米国株の大暴落をまず挙げられます。1日で22.6%という空前の下落率を記録しました。しかし、仮にその前日にこの大暴落を予見できていたとしても、「今日売っておいた方がいいですよ」とは言い難いものがあります。なぜなら、大暴落前日のダウ平均株価は2,200ドル台でしたが、今はその10倍近い20,000ドル以上だからです。大暴落前日に買って呆然とした人も、持ち続けていたら10倍近くに資産が増えたはず。財産づくりで大事なものは、値動きよりも投資先である企業の成長なのです。

「どう買えばいい？」

一方、セミナーなどで予想以上に多く出るのが、「多少まとまったお金があるが、どう買ったらいいのか？」というご質問です。毎月の定額積立投資で長期の財産づくりを着々と進めておられる方が、弊社の場合は圧倒的に多いのですが、スポット購入（好きな時に好きなだけ買うことをそう呼びます）をお考えの方も少なくないようです。答えは十人十色でしょうが、言えることは、やはり時間分散は大切だということです。

投資にまだ不慣れな方の場合は、小口に分けて、数年かけてお買いになるのがいいでしょう。株価の変動を多少とも経験し、下がっても戻ってくるものだとわかってきたら、毎月定額の買い付けを続けつつ、大きめの下落局面で投資額を増やしてみるのも一計でしょう。市況の悪化はファンドの保有口数を増やすチャンスです。

仮に下がることなく上がり続けたとしても、慌てることはありません。そんな数ヶ月で何倍にもなったりしませんから。アメリカの作家マーク・トウェインは言いました。「投資してはいけない時期が二つある。一つはおカネがない時。もう一つはおカネがある時」だと。

暴落は嫌なものですが、それ以上に避けたいのは、恐怖に駆られて底値で売ることであり、「上がる前に早く買わなくては」と焦って高値をつかむことなのだと思います。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2017年3月31日現在)

基準価額	
22,713 円	
純資産総額	
49 億 99 百万円	
期間別騰落率(%)	
1 ヶ月	1.28%
6 ヶ月	14.18%
1 年	15.36%
3 年	22.30%
5 年	67.76%
設定来	127.13%

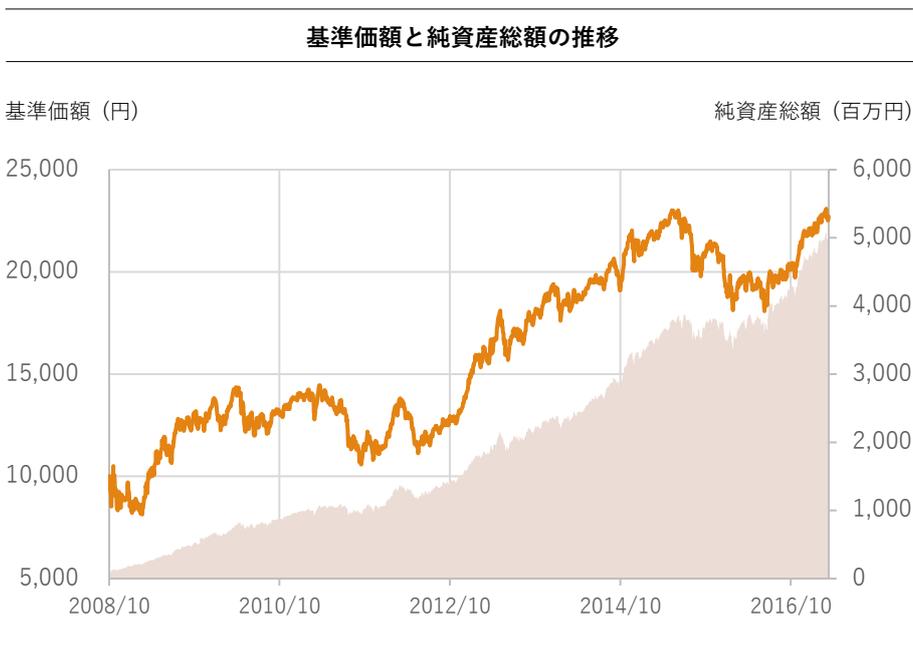
複利年率(%)	
10.20%	

*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2017年2月28日現在)



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	年間騰落率(%) ※
さわかみファンド	日本	7.2%	1.3%
キャピタル F	欧米	14.3%	1.4%
ハリス F	欧米	21.8%	1.3%
コムジェスト F	新興国	38.2%	2.1%
現金等	-	18.5%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2017年3月の市場動向と運用状況

投資環境と基準価額の推移

世界の株式市場は、前半はますます好調でしたが、月の半ばからやや調整色の濃い展開となりました。また、為替市場では下旬に向けて円高傾向となりました。このため円建てで見た世界の株価はほぼ横ばいとどまりましたが、新興国は株価・為替ともに比較的しっかりした推移となりました。

3月のポイントは以下の3点だと思います。第1は、米国の金融政策が金融危機後の超緩和策から着実に脱していくことがはっきりしてきたことです。中旬の連邦公開市場委員会（FOMC）直前に、市場関係者の利上げ期待が行き過ぎだったため、その反動で実際に利上げされたもののドルは軟調となり、金利も反落しました。とはいえ、米国景気の改善とインフレ率の上昇を背景に利上げは続く可能性が非常に高いと見られます。今後はそのピッチとともに、企業業績への影響などを一層注視していく必要があります。

第2のポイントは、米国トランプ政権の実行力を疑う見方が広がってきたことです。医療保険制度の改革法案を取り下げる事態に追い込まれたことをきっかけに、市場では大規模な減税等、景気刺激策への期待が大きく揺らいでいます。移民問題でも司法当局に流入規制の執行を差し止められるなど、公約の目玉が次々と頓挫している格好です。これが月末にかけての米国株のもたつきに表れたと見ていますが、市場の過剰な期待が薄れてきたこと自体は悪いことではありません。景気過熱による利上げピッチの加速も避けられるのではないかと見ています。

第3に、欧州での政治的な混乱への警戒感が薄れてきたことが挙げられます。中旬に実施されたオランダの総選挙では、極右政党が第一党の座を奪うことができませんでした。市場が警戒してきた移民排斥やEU離脱への流れが少なくとも一旦は弱まったように見えます。今後は4月下旬以降のフランス大統領選挙が大きな焦点になりますが、極右候補の勢いに陰りが見られますし、万一大統領に当選したとしても、フランス憲法の規定などからEU離脱は容易ではなさそうです。もちろん、選挙はふたを開けるまで分かりませんので、引き続き注目していきます。

ユニオンファンドに組み入れている4本のファンドはすべて値上がりしました。市場はさえないでしたが、さわかみF、キャピタルF、ハリスFは銘柄選択が奏功し市場の動きを上回りました。また、新興国株の好調を受け、コムジェストFは4ファンドで最も上昇率が高くなり、ユニオンファンドの基準価額押し上げに寄与しました。

運用の状況

トランプ政権の先行きへの警戒感から株価が下落し、円が上昇した局面で、海外株に投資する3ファンドを買い付けました。このため組入比率は81.5%へと2月末から若干上昇しています。

今後の見通しと運用方針

市場の動きが鈍っているのは、トランプ政権への期待の後退、米国連銀による利上げ継続の影響、それに北朝鮮問題が懸念されているためと思われます。ただ、世界の景気は、米国に続いて欧州や新興国でも拡大する方向にありますので、市場が混乱する場面などでは買い増しを着実に実施していく方針です。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



国別構成比



組入銘柄トップ 10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 プリチソン	4.6%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
2 日本電産	3.7%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
3 ダイキン工業	3.4%	日本	機械	エアコン世界首位
4 花王	3.2%	日本	化学	トイレ紙首位
5 TOTO	2.9%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器首位
6 信越化学工業	2.8%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
7 国際石油開発帝石	2.7%	日本	鉱業	石油メジャー
8 トヨタ自動車	2.5%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
9 浜松ホトニクス	2.4%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
10 デンソー	2.0%	日本	輸送用機器	世界的自動車部品メーカー
上位 10 銘柄	30.2%		現金等	12.8%

業種別構成比



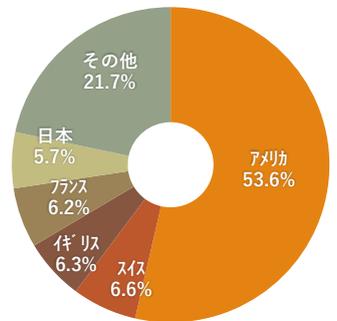
※ 業種：東証 33 業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2017 年 3 月末現在>

キャピタル F (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラス Z)

基準価額の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



国別構成比



組入銘柄トップ 10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Incyte	2.7%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品バリエーション
2 Microsoft	2.6%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
3 Alphabet	2.3%	アメリカ	情報技術	グーグルの持ち株会社
4 TSMC	2.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
5 Visa	2.1%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
6 AIA	2.1%	香港	金融	生保・金融サービス
7 ASML	2.1%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
8 CME	1.8%	アメリカ	金融	先物等の国際的取引所
9 Schlumberger	1.6%	アメリカ	エネルギー	石油掘削大手
10 LafargeHolcim	1.6%	スイス	素材	セメント世界一
上位 10 銘柄	21.0%		現金等	4.1%

業種別構成比



※ 業種：MSCI 世界産業分類基準の 11 セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2017 年 2 月末現在>

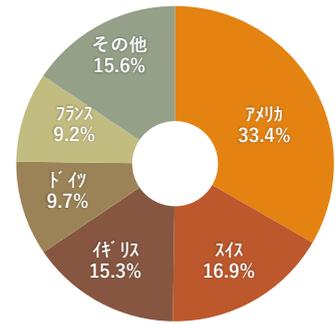
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

ハリスF (ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007)

基準価額の推移 (分配金込み)の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



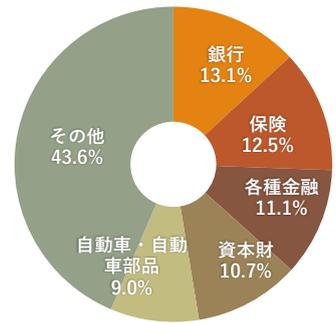
国別構成比 (マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 GLENCORE	4.9%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
2 CNH INDUSTRIAL	4.8%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
3 DAIMLER	4.7%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
4 CREDIT SUISSE	4.7%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
5 ALLIANZ	4.6%	ドイツ	保険	総合保険大手
6 BNP PARIBAS	4.5%	フランス	銀行	フランス大手銀行
7 GENERAL MOTORS	4.0%	アメリカ	自動車・自動車部品	米ビッグ3の一角
8 JULIUS BAER	3.7%	スイス	各種金融	プライベートバンク
9 GRUPO TELEVISIA	3.7%	メキシコ	メディア	放送局
10 WELLS FARGO	3.3%	アメリカ	銀行	金融大手
上位10銘柄	42.9%		現金等	3.5%

業種別構成比 (マザーファンド)



※ 業種：MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率

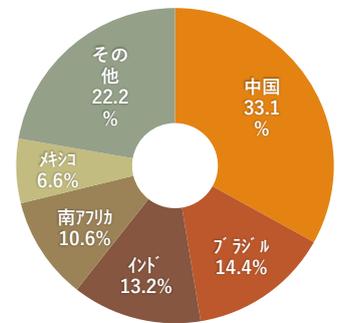
<2017年2月末現在>

コムジェストF (ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA)

基準価額の推移 (分配金込み)の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



国別構成比 (マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC	5.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 CHINA LIFE	4.8%	中国	金融	生保
3 NETEASE ADR	4.4%	中国	情報技術	オンラインゲーム
4 POWER GRID OF INDIA	4.2%	インド	公益事業	電力関連 (送電網)
5 INFOSYS ADR	3.6%	インド	情報技術	ITソフト総合サービス
6 MTN	3.2%	南アフリカ	電気通信サービス	携帯電話
7 BB SEGURIDADE	3.1%	ブラジル	金融	保険大手
8 CCR	3.0%	ブラジル	資本財・サービス	有料道路運営大手
9 SAMSUNG LIFE	3.0%	韓国	金融	生保
10 INNER MONGOLIA YILI	2.9%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
上位10銘柄	37.3%		現金等	2.3%

業種別構成比 (マザーファンド)



※ 業種：MSCI 世界産業分類基準の 11 セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率

<2017年3月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

取引残高報告書について

今回、「平成 29 年 1 月～3 月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

※ 口座に残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1 年毎に「取引残高報告書」にてご報告いたします。

「お取引の明細と預り金の残高明細」の見方

記載対象期間内にお取引された明細および作成基準日現在のお預り金の残高です。

※ 最後に表示される「お預り金」につきましては、“作成基準日現在”でユニオンファンドの買付が完了していない場合にはその金額が、完了している場合には「0 円」が表示されます。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]
	基準価額	投資金額 [b]	円
(預り区分)	評価金額	受取金額 [c]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出
(決算日)	取得単価	個別元本	

数量	ユニオンファンドの残高口数です。
基準価額	作成基準日（平成 29 年 3 月 31 日）現在の基準価額です。
評価金額	作成基準日現在の残高の「評価金額」です。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000 で算出されます。）
取得単価・個別元本	これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。 一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。
評価金額合計 [a]	評価金額の合計です。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計です。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出しておりません。
運用損益[a-b+c]	作成基準日現在の運用損益です。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 金 信託財産留保金はありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.864% (税抜き 年 0.8%) の率を乗じて得た額です。
毎日、当ファンドの信託財産より控除されます。
[*実質的な信託報酬：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3% (概算)]
* 『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めた率です。
目安であり、組入状況により変動します。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が当ファンドの信託財産より控除されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税等相当額の費用を含みます)
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用(監査費用)(消費税等相当額を含みます)

※ 監査費用は委託会社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。